

1. 事業の位置付け

事務事業名	駐輪場整備促進事業		
事業担当	市民部 くらし安全課		
予算科目	00-xxxxxx-xx0000	事業種類	<input type="radio"/> ハード <input checked="" type="radio"/> ソフト
総合計画の位置付け	05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	02	② くまの顔 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	03	3 誰もが安心して、安全、快適に過ごせる環境づくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	自転車利用者	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
平塚駅西口（東地）駐輪場を確保することにより、駅周辺の放置自転車が解消され、自転車利用者の利便性が向上しています。		駅周辺の放置自転車対策と自転車利用者の利便性の向上を図るため、駅西口（東地）への駐輪場整備を促進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標実績								
活動指標②	指標名	庁内調整会議等開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標実績		8	6	2				
成果指標①	指標名	駐輪場整備進捗率						単位	%
	説明・算定式	H19：庁内調整会議等28%、H20：調整会議等・整備66%、H21：庁内調整会議等6%							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標実績		28	94	100				
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
平塚駅周辺放置自転車対策及び自転車駐車場の再整備計画を作成し、自転車駐車場整備後の放置自転車対策及び自転車駐車場の整備・有料化の予定を提示しました。									
平成20年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価		
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	駅周辺の放置自転車対策と自転車・バイク利用者の利便性の向上を図ります。 駅周辺の景観及び歩行者の安全を確保することができます。 自転車駐車場の整備により、駅周辺の放置自転車対策と自転車バイク利用者の利便性向上を図ることができます。 効率的な事業手法を検討、選択し整備していく必要があります。
今後に向けた課題の分析 駅周辺の放置自転車が、景観上、防災上・防犯上問題になっています。また、通行の障害になっているため、早急の整備が必要です。						

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			関係各課との協議	東地駐輪場の整備 促進	良好な駅前環境	駅西口(東地)駐 輪場整備促進		
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費(A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率(%)		—	—	—				
内訳	職員(人)	0.00	1.10	1.10	1.10	1.10	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費(B)		0	9,231	9,231	9,192	9,192	0	0
フルコスト(A+B)		0	9,231	9,231	9,192	9,192	0	0

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
●現状の規模で継続 ○拡大して継続 ○縮小して継続 ○廃止 ○休止 ○終了 ○他事業と統合	
<判断理由> 施設の建設、整備を行うことで、無料自転車駐車場の有料化や自転車駐車場利用の促進、放置自転車対策を強化します。	
平成22年度の実行方針	
自転車駐車場の整備し、無料自転車駐車場の有料化や放置自転車の解消に努めていきます。	
課長コメント	総合的な駅周辺の放置自転車対策の一環として、議会や市民の理解を得て、駅西口の駐輪場整備を推進していきます。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		駐輪場整備に向けて、庁内会議を重ねたことにより、設計委託料の計上 ができた。	平塚駅周辺放置自転車対策及び自 転車駐車場の再整備計画を作成し、自 転車駐車場整備後の放置自転車対策 及び自転車駐車場の整備・有料化の 予定を提示しました。
検証結果	—	A：成果があがった	C：十分に成果をあげることができ なかった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた 課題		駅周辺の放置自転車が、景観上、防 災上・防犯上問題になっている。ま た、通行の障害になっているため、 早急の整備が必要である。	駅周辺の放置自転車が、景観上、防 災上・防犯上問題になっています。 また、通行の障害になっているため 、早急の整備が必要です。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	現状の規模で継続
取組方針		自転車駐車場の完成により、無料駐 輪場の有料化や放置時自転車の解消 に努めていく。	自転車駐車場を整備し、無料自転車 駐車場の有料化や放置自転車の解消 に努めていきます。
事業区分	—	実施計画事業	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	「自転車の放置防止条例」に基づき指定している自転車放置禁止区域及び周辺においては、歩行空間の確保や景観向上の観点からも自転車整理、撤去が必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	駅周辺の生活環境の向上を図るため、強化・継続して事業を実施することは有効性が高いものと考えます。また継続して実施することが有効です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	駅周辺の生活環境整備向上のためには欠かせませんが、さらに、整理・撤去の強化が必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	保管場所を現在より広く、駅に近い場所に確保する必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		自転車駐車場整備を進めるとともに、無料の自転車駐車場の有料化、放置自転車撤去の有料化を図っていく必要があります。		

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			放置自転車の撤去、駐輪場の自転車等の整理、キャンペーン実施	放置自転車の撤去、駐輪場の自転車等の整理、キャンペーン実施	放置自転車の整理・撤去、キャンペーン実施	放置自転車の整理・撤去、キャンペーン実施	放置自転車の整理・撤去、キャンペーン実施	放置自転車の整理・撤去、キャンペーン実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	46,305	45,445	48,173	48,173	48,173	48,173
事業費 (A)		0	46,305	45,445	48,173	48,173	48,173	48,173
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	6,294	6,294	6,267	6,267	6,267	6,267
フルコスト (A+B)		0	52,599	51,739	54,440	54,440	54,440	54,440

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 自転車駐車場の確保が十分なされるまで同規模での継続が必要です。	
平成22年度の実行方針	
放置自転車対策は急務であり、引き続き整理を強化して、継続して実施します。	
課長コメント	依然として駅周辺の放置自転車が多く、良好な都市景観や安全な歩行空間確保のため、駐輪場建設を含めた総合的な対策を早急に進める必要があります。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		自転車放置禁止区域において、放置自転車を5,696台撤去し（うち、3,447台を引き渡し）、安全な歩行空間が確保できた。	自転車放置禁止区域において、放置自転車に対して警告・指導・撤去を350日実施し、放置自転車を5,636台撤去しました。またキャンペーン等を通して自転車利用者への適正な駐輪の周知と安全な歩行空間が確保できました。
検証結果	—	B：おおむね成果があがった	B：おおむね成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		自転車駐車場整備を進めるとともに、無料の自転車駐車場の有料化、放置自転車撤去の有料化を図っていく必要がある。	自転車駐車場整備を進めるとともに、無料の自転車駐車場の有料化、放置自転車撤去の有料化を図っていく必要があります。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	現状の規模で継続
取組方針		放置自転車対策は急務であり、引き続き整理を強化して、継続して実施する。	放置自転車対策は急務であり、引き続き整理を強化して、継続して実施します。
事業区分	—	実施計画事業	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。

1. 事業の位置付け

事務事業名	中心市街地防犯パトロール事業		
事業担当	市民部 くらし安全課		
予算科目	00-xxxxxx-xx0000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	02	② くまの顔 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	03	3 誰もが安心して、安全、快適に過ごせる環境づくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： 警察・防犯協会・商店街等】		
目的・目標		事業の概要	
市民が安心して歩ける中心市街地になっています。		市民が安心して歩ける中心市街地にするため、警察、商店街、市が連携して防犯パトロールを実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	パトロール実施回数						単位	回
	説明・算定式	中心市街地をパトロールする回数							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		6	6	6	6	6	6	
	実績		4	12					
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	紅谷町犯罪件数						単位	件
	説明・算定式	紅谷町で発生した犯罪件数							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		350	340	330	320	320	320	
	実績		372	316					
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
中心市街地にて、警察・防犯協会・商店街等の関係団体と連携して防犯パトロールを12回実施したところ、紅谷町で発生した刑法犯認知件数は前年度と比べ56件減少しました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	「夜間、怖くて中心市街地を安心して歩けない」、「防犯パトロールを強化してほしい」等の要望が市長への手紙などにより市民から寄せられています。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	事業の性質上、単年度のみで判断するのではなく、継続して実施していくことで、成果向上が期待できます。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	中心市街地の治安向上には、防犯パトロールが最低限必要不可欠であり、警察・防犯協会・商店街等関係団体と連携することにより、効果的に分担して行っています。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	事業は取締り、啓発が中心となるので、警察・防犯協会・商店街等多くの関係者を巻き込んで実施していくことで効率的・効果的に実施しています。	● 高 ○ 中 ○ 低	
今後に向けた課題の分析 「安心・安全のまちづくり」には治安は重要な要素であり、警察だけでなく防犯協会・商店街等多くの関係者を巻き込んでいくことで効果的に実施していきたい。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			防犯パトロールの 実施	防犯パトロールの 実施	防犯パトロールの 実施	防犯パトロールの 実施	防犯パトロールの 実施	防犯パトロールの 実施
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	2,518	2,518	2,507	2,507	2,507	2,507
フルコスト (A+B)		0	2,518	2,518	2,507	2,507	2,507	2,507

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 本事業は、中心市街地の治安向上のため必要不可欠なものであり、今後も引続き実施していくべきものと考えます。警察・防犯協会・商店街等と連携しながら効果的に実施していきます。	
平成22年度の実行方針	
事業の実施にあたって、天候等の不確定要因があるものの、成果指標に掲げる目標の達成に向け、引き続き事業を展開していきます。	
課長コメント	平塚警察署に設置されている「平塚駅前地区歓楽街総合対策推進協議会」と連携し、効果的・効率的なパトロールを実施していきます。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	③：遅れている	①：予定どおり
主な取組と成果		中心市街地にて、警察・防犯協会・商店街等の関係団体と連携して防犯パトロールを6回計画したところ、天候不良のため4回の実施となったが、紅谷町で発生した犯罪件数は前年度程度に抑えることができた。	中心市街地にて、警察・防犯協会・商店街等の関係団体と連携して防犯パトロールを12回実施したところ、紅谷町で発生した刑法犯認知件数は前年度と比べ56件減少しました。
検証結果	—	A：成果があがった	A：成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		「安心・安全のまちづくり」には治安は重要な要素であり、警察だけでなく防犯協会・商店街等多くの関係者を巻き込んでいくことで効果的に実施していきたい。	「安心・安全のまちづくり」には治安は重要な要素であり、警察だけでなく防犯協会・商店街等多くの関係者を巻き込んでいくことで効果的に実施していきたい。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	現状の規模で継続
取組方針		事業の実施にあたって、天候等の不確定要因があるものの、成果指標に掲げる目標の達成に向け、引き続き事業を展開していく。	事業の実施にあたって、天候等の不確定要因があるものの、成果指標に掲げる目標の達成に向け、引き続き事業を展開していきます。
事業区分	—	実施計画事業	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。